

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たけのこクラブ若久

公表日 2025/3/14

利用児童数 38名

回収数 15

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・1階はとて広く子供達がダンスなどできる広さで良いと思います。 ・2Fまで幅広い施設です。	活動スペース等がしっかりと確保できる様に環境整備をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	86%	0%	0%	14%	・支援員の先生がたくさん居らっしゃるので良いと思います。 ・いつも来所した際、先生が大勢居て安心します。	今後も人員を多く配置し、十分な配置数を保っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	・新一年など低学年の子供達にも分かりやすい様に絵や文字にも、きちんと平仮名など書いてるので分かりやすいと思います。階段に手すりがあったり机にコーナークラッドがある等、安全に配慮されている。	児童の安全を最優先に考えつつ、あらゆる特性、症状の児童に対応できる空間を作っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・綺麗でマット等が敷いてあって元気な活動に合わせた空間だと思います。 ・絵で分かりやすいポップがあるのが良い	マット等の消毒、清掃は念入りに行っております。 清潔な空間の中で児童が楽しく安全に過ごせる環境を目指しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	・子どもや親の困った事、悩みなどの相談ができ、とても助けていただいています。	子ども1人1人に対し深い理解をしていく事に努めており、その上での支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	・はい、そしていつも楽しい支援プログラム、新しいプログラム等があり楽しめていると思います。	公表する内容と実際行う内容は齟齬が無い様に支援を行なっていますので、今後も尽力していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・出来る事、お友達への気持ち、お友達関係など沢山学んで欲しい事が組み込まれていると思います。	個別支援計画を作成するに辺り、事前の入念なアセスメントを元に行っています。ニーズ等の確認、客観性の担保も職員と協力し確立しておりますのでご安心ください。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	・いつも子どもの笑顔になる支援、親の精神面など支える支援だと思えます、ありがとうございます。	・項目と、それに準ずる具体性のある内容を遵守できる様に、日々吟味、選定し設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	・はい、日々成長しています。	放課後デイサービス計画に基づいた支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	・新しい外学習も多いので、社会性が学べて良いと思います。	戸外活動時にバス、電車に乗る際の移動支援や料金の支払い方法の練習等も行ってあります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	86%	0%	0%	14%	・若久校区との繋がりが多いと思えます（どんと焼きやバザー交流など）	地域のイベントやお祭りは交流機会に最適なので参加しています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・契約の時に詳しく説明していただいた。 ・丁寧な説明が有りました。	しっかりと説明をさせて頂いています。その後も疑問などあればいつでもお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	・分かりやすく見ながら説明して頂きました ・丁寧な説明が有りました。	しっかりと説明をさせて頂いています。その後も疑問などあればいつでもお問い合わせください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	93%	0%	0%	7%	・療育会など心理士の先生との学習会などがあつているので、とても良いと思います。	臨床心理士の先生による相談会はご家族の方も参加でき、直接お話が伺う事ができます。毎月の開催をしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%	・出来ていると思えます。連絡帳、口頭での伝達、お電話など伝えて頂きます。	保護者様と共通認識を持ち同じ方向性で支援していけるように努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93%	7%	0%	0%	・面談、担当者会議などで、たくさんお話をして支援に繋がっています。	モニタリングや担当者会議以外にも、必要に応じて面談を行い相談に乗っております。臨床心理士の先生による相談会も毎月行なっておりますので、いつでもご相談に乗れる体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・はい、とても気にかけていただきありがとうございます。	全職員で同じ方向性、共通認識を持って療育支援に取り組んでおります。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	86%	0%	14%	0%	・療育会などで心理士の先生と繋がりが出来ると思えます。 ・どんたくに出演した際に各家庭のお母さんお父さん達と交流ができました。	臨床心理士の先生による相談会は毎月開催しております。また、行事による際に保護者様同士の交流機会を設定しております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	・いつも素早く対応していただいています。 ・子どもの支援のために寄り添ってられています。	随時相談には親密に相談できる体制を整えております。1人1人の人生に携わっている意識を持ち、支援者としての責任・義務を果たすべく日々努めております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・はい、そう思います。 ・いつも言い方や伝え方が穏やかで安心できます。	相談しやすい環境、相手である事は非常に重要なファクターだと考えております。出来る限りの配慮を考え対応をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	86%	0%	0%	14%	・どなたも参加等、イベントの写真などが上がっています。 ・毎月予定表で行事を確認しています。	毎月行事予定を配布しており、定期的にHP上で様々な情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・きちんと情報管理をしていただいていると思います。	管理者の許可なく閲覧できない鍵付き欄での書類管理、及びパスワード入力が必要な電子媒体の管理など細心の注意を払い管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	93%	0%	0%	7%	・契約時に説明して頂きました。定期的にか月のスケジュールに避難訓練が入っています。連絡簿などに避難訓練の内容が書かれています。	各マニュアルの作成の徹底、及び契約時に周知の徹底を行っています。訓練は定期的に行なっており、都度周知をさせていただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・様々な災害に備え、避難訓練が行われています。災害対応に詳しい子になってくれました。	地震・水害・火災などあらゆる非常災害に備えた訓練を定期的に行なっております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・マットや階段の滑り止め、飛び出し防止のドア等確保されていると思います。 ・安全性の確保された支援は周知されています。	安全性を確保できる計画の作成や周知の徹底、前述の内容を踏襲した支援を徹底できています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	・熱など出た時にすぐ連絡して頂き助かっています。	事故・怪我・体調不良などあらゆる不測の事態が起きた際は、迅速に保護者に対して連絡・報告をさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・信頼していると感じます。悩み事など相談できる先生が居るようでありがたいです。	児童の安心感の確保は重要な職務だと認識し、精神面のセーフティネットの役割も担えるよう日々尽力しております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・大好きなお友達に会える事を楽しみにしています。 ・いつもたけのこに行きたいと言っていて、楽しく通所出来ています。 ・「今日はたけのこ！」と理解し自ら準備する姿にビックリ！嬉しく思います。	児童自身も療育的観点による支援だけだと入りにくい部分があるので、楽しみや嬉しさの中で成長に繋がる支援を心がけています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・いつもありがとうございます。みんな助けられています。 ・満足です。今後も宜しくお願い致します。	児童自身・保護者様の両輪でご満足いただける療育・支援が出来る様に尽力しております。今後も最大限努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たけのこクラブ若久		公表日		令和7年 3月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	児童人数並びにスタッフの配置人数を守り、距離の取れるスペースを確保している。1F2Fとあり各フロアに分散してスペースを利用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童人数に対してスタッフの確保をしている。十分な数の職員を配置して療育支援に取り組んでいる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	クッション性のあるフロアマットの使用。手すり、角等にもクッション性があるもので保護してある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の消毒、清掃を行っている。加湿、空気清浄機使用。児童達の安全、楽しさを保てる空間になっています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	学習室やプライベート空間の小部屋を用意してある。2つの学習室がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	担当者会議やモニタリング後に情報共有している。毎月のミーティング等で目標設定や振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年評価表を取りまとめ公表している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月のミーティングで意見交換や議論が行えている。臨床心理士の先生の勉強会で意見を出し合う事もある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	臨床心理士の先生による療育会でその機会がある。日々の療育の業務改善に繋がっている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	臨床心理士の先生による療育会研修等の参加。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	しっかりと支援プログラムが作成されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	個々のこどもに対し十分なアセスメントを行い、話し合いの中でしっかりとニーズを分析し放課後等デイサービス計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	随時、報告連絡相談をし、各職員にフィードバックし、全員が共通認識を持った上で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	申し送りノート活用で、確認し支援している。毎月のミーティングで計画内容を共有し、計画に沿う支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	各適応行動に対して、適した書式を使いながら、各職員への共有と確認ができています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	しっかりと必要な領域を選定し、項目を決定している。支援内容も常に具体性のあるものになっている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	日々の情報共有や話し合いの元で決定している。毎月のミーティングで必ず話し合いをしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	日々、何か別の形のアプローチが無いかな審議し提案している。毎月のミーティングで必ず話し合いをしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個々の状況に適した個人活動、集団活動の目標を放課後等デイサービス計画で選定している。それを元に日々の療育に取り組んでいる。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	皆で正確に共有する為に、内容をメモし漏れが無い様に工夫している。口頭での申し送りを必ず行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	気付いた事の相談、報告、確認等を必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	しっかりと記録媒体に残している。SSTや移動支援等も記録に残し、検証と改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	期間内にモニタリングを必ず行う（必要性があれば追加で行う事もある）として、適宜見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	児発管がしっかりと考えて行っている。複数の基本活動を組み合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	児童の自立を促す事がベストであり、自己決定できる様に介入しているが、どうしてもこちらが多く介入してしまう場面があるので、その点をより改善していけたら。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	子どもと関りが深く、より精通した者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	協力医療機関もしっかりと設けており、常に外部と連携できる状況を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	個々の児童に対して、学校とは細かく密な情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	必要がある場合は互いに情報共有を行い、共通認識が持てるように努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	必要に応じて情報を提示したり、担当支援員に伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	84%	14%	必要に応じて連携の機会を設けている。	職員への説明が足りてない部分があったので今後は周知していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	若久祭りやバザーに参加し地域の子どもと触れ合う機会があった。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	84%	14%	以前必要性に応じて参加する事があった。	職員への説明が足りてない部分があったので今後は周知していきます。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や電話や連絡帳で保護者と密に情報を伝え合い、現状や課題に対して共通認識を持っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	臨床心理士の先生による療育会の開催を毎月行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	しっかりと管理者が説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	本人のニーズや保護者の意向もしっかりとヒアリングし、本人と家族の以降を汲んで作成している。電話や口頭で意向確認のやり取りをしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	しっかりと児発管が説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングや担当者会議を行い、面談による助言と支援を行っている。しっかりと児発管が説明を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	療育会を月に1回開催している。どんたくに全施設で参加する事により、保護者同士の交流の機会を作っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	報告連絡相談と周知の徹底をし、管理者が保護者と迅速に話し対応している。内容を踏まえ、現行体制に対する整備を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月イベント行事のスケジュールを配布している。定期的に活動をHPにて公表している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付きの欄にて保管し管理者の許可なく閲覧できない体制を作っている。PC上でもパスワードによる閲覧制限をし情報管理を徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	障がいのある本人や、ご家族に伝わる方法、対策を常に話し合い、配慮を最大限に熟考してアプローチをしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	バザー等を開催し、地域住民の保護者等も参加できる行事を定期的に行なっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	適宜、計画に基づいた訓練を行なっている。マニュアル関連も定期的な見直しを行なっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画を作成し、それに順ずる内容で定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	必ず確認し、どの様な対応をするか保護者様と詳細に話し合い、決定した内容を職員全員に周知・徹底している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	事前に保護者様にしっかりと聞き取りを行い、医師の指示書の内容を遵守している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、計画に基づいて定期的な研修・訓練を行なっている。安全性にも十分な配慮をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約の際しっかりと説明し、変更がある際は周知を徹底している。また別途質問があれば回答している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを残し、定例会議で必ず議題に上げ改善について話し合いを行なっている。全職員共有し周知を徹底している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修機会を設けたり虐待防止についての定例会議を行なっている。話し合いを踏襲した適切な対応を行なっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	ミーティング等で身体拘束について毎回内容の確認と困り毎がないか打ち合わせしている。		